

学校だより

光輝燦然

～ 磨け！自分の色 ～

第7号

令和4年5月9日（月）発行 発行責任者 校長 馬場廣明

前期学級委員の任命式・表彰伝達式が行われました。

5月2日（月）に体育館で前期学級委員の任命式が行われました。久しぶりの体育館での全校集会でしたが、各学年、整然と立派な態度で参加できました、特に印象的であったことは、各クラスの学級委員長・副委員長の呼名後の返事がきちんとできていたことです。学年・クラスのリーダーとして、活躍してくれることは間違いないと実感できました。また、その後、「ソフトテニスの各種大会の表彰」「県南春季陸上大会の表彰」も行われました。放送やリモートでない、生徒一人ひとりの顔が見れる集会はいいですね。「コロナ禍の中、改めて体育館での全校集会の良さ」を感じました。

クラス	役職	氏名	役職	氏名
1年1組	学級委員長	●● ●●	学級副委員長	●● ●●
1年2組		●● ●		●● ●●
1年3組		●● ●●		●● ●●
2年1組	学級委員長	●● ●●	学級副委員長	●● ●
2年2組		●● ●●		●● ●●
2年3組		●●●●●		●● ●●
2年4組		●● ●●		●● ●●
2年5組		●● ●		
3年1組	学級委員長	●● ●●	学級副委員長	●● ●●
3年2組		●● ●●		●● ●●
3年3組		●● ●●		●● ●●
1・3年4組		●●● ●		●● ●●

新型コロナウイルス感染症対策について

～ いつ感染してもおかしくない状況にあります ～

「いつ感染してもおかしくない状況」は、毎日のように全国各地において新型コロナウイルス感染者数に表れています。また、福島県内や須賀川市内においても、同じことが言えます。いつ収束するのか全く分からない状況にあります。しかし、今後も「ワクチン接種をしたから大丈夫」「私は感染しないであろう」などと油断せず、常に危機意識を持った感染対策が大事であると考えます。どうぞ各ご家庭におかれましても、再度ご確認いただきマンネリ化しない取り組みをよろしくお願いいたします。また、来週からは中体連大会が始まります。特に3年生にとっては最後の大会となります。「戦わずして、終わってしまった。」だけは何とか避けなければなりません。今まで以上にお子さんの体調管理には細心の注意を払い、今まで以上に学校と家庭との連携・協力を密にしながら進められればと思います。いつも感じていることですが、本当に保護者の皆様のご指導とご協力には感謝の気持ちでいっぱいです。保護者のすばらしさ・地域のすばらしさは子どもたちの毎日の学校生活を見ればよく理解できます。

4月5日の須賀川市教育委員会様よりノパメールでお知らせがあった内容について、再確認させていただきます。次の場合は登校を控え、学校までご連絡をお願いします。

- お子さんの陽性が判明した場合
- お子さんが濃厚接触者に特定された場合
- お子さんがPCR検査や抗原検査を受ける（受けた）場合
- お子さんに発熱等の風邪症状がある場合
- 同居家族が濃厚接触者に特定、または、症状がありPCR検査や抗原検査を実施する場合
- 同居家族に発熱等の症状がある場合

なお、発熱やのどの痛みなどの症状がある場合は、すぐに専門医の診断を受けてください。併せて、もしも、陽性や濃厚接触者に特定された場合も保健所などの専門機関の指示にしたがってください。また、今までどおりにコロナ不安を感じる場合は、お子さんや保護者の判断で登校させないこともできます。その場合につきましても、学校（教頭）までご連絡をお願いします。

（連絡先） 授業日・勤務時間内； 西袋中学校まで 電話 76-5136

まず始めに学校に電話していただき、不通の場合は携帯電話までお願いします。

休 日・勤務時間外； 西袋中携帯電話まで 電話 ●●●-●●●●-●●●●

本校教頭が対応します。

※ もしも感染してしまった場合は、「まずは健康な身体を取り戻すことが最優先です。」

学校のこと（勉強や部活動等）や世間の目は気にせず、まずは専門医の先生の指示にしたがい治療に専念してください。また、いつも言っていることですが、感染してしまった人を誹謗中傷するような発言や行動は絶対に許されるものではありません。

西中生やこの西袋地区にはそうした人がいないことを強く信じています。

※ まだ学校のノパメールに登録が済んでいない保護者の方は、ぜひ登録をお願いいたします。



野球部の練習や大会を見学させていただいて！

この大型連休中に本校野球部は、4月30日（土）・5月1日（日）の白牡丹野球大会（第3位／学校だよりで報告済み）に出場、5月7日（土）には春季県中白球選手権大会（ジャイアンツカップ県中地区予選会）に出場しました。この大会では1回戦、郡山市内のナンバースクールの学校に3対0で勝利し、2回戦、田村郡内で優勝したチームと対戦し、0対1で惜しくも敗れてしまいました。どちらの試合も投手戦となり、2人の2年生投手が大活躍しました。そんな中、2つの大会を観戦させていただき強く感じたことがあります。それは「1年生から3年生までの24名の全部員、選手も控え選手も心や気持ちが1つになっていること。」です。特に背番号18番を付けている2年生の選手は印象的でした。1塁側のコーチャーズボックスに入り、大きな声で打者や塁に出た選手に声援を送り、的確なアドバイスをしていました。当然、試合終了後には声は嘎れていました。また、チームのキャプテンは現在、けがのため試合には出場できませんが、試合でも練習でも松葉杖をつきながら、いつも全部員を中心に立っています。野球部の練習や大会を見学させていただき、野球の技術はもちろんですが、生徒たち一人ひとりの心が着実に育っており、これこそが真の部活動の姿であると感じました。こうした光景は野球部だけに見られることではありません。本校のどの部活動でも、学校生活の至るところで見られます。前にもお話ししましたが、全学年、それぞれの学年へ入学・進級し、どの学年にもふさわしい中学生さしさが見られます。生徒たち一人ひとりの今後の更なる活躍が期待されます。今後の西中生に注目してください。

※ **今年度の中体連大会（陸上・総合）における保護者の皆様の入場・応援（有観客・無観客）につきましては、今後の会議で決定いたしますので、決まり次第お知らせいたします。今しばらくお待ちください。**

～本校ホームページのアクセス数が126万7千件を突破！いつもご覧いただきありがとうございます。～